

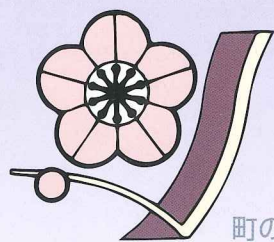
わたしたちの酒々井町



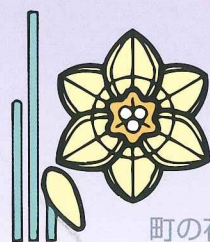
下宿の円福院の境内にある「酒の井の碑」
「どうして酒々井という地名になったのかな？」

酒の井伝説

昔むかし、印旛沼の近くに年おいた父親と孝行息子がおった。息子は酒ずきの父親のため、毎日いっしょうけんめいに働き、酒を買っていたんじゃ。ところがある日、どうしても酒を買う金がつくれずに、とぼとぼ歩いて帰ろうとしていたところ、道ばたの井戸から何ともよいかおりがしてきた。なめてみると、それは酒だった。大喜びで家に持って帰り、父親に飲ませると「こりゃあうまい酒だ。ありがたい。ありがたい。」と、たいそう喜んだ。息子は、それから毎日井戸から酒をくんで父親に飲ませたんじゃ。ところがこの井戸からほかの人がくんでも、それは、ただの水だったそうじゃ。「きっと、孝行息子の心が天に通じたに違いない。」と、みんながほめたたえたそうな。この酒の話が広まり、この井戸を「酒の井」と呼び、村もいつしか「酒々井」と呼ばれるようになったということじゃ。



町の木《梅》



町の花《水仙》



町の鳥《めじろ》

町章



三角形は、千葉県を表し、円は、北総台地と人の和を表しています。そして、酒々井町の位置に町名の頭文字「酒」を入れています。うしろのデザインは街づくりをイメージする色として、酒々井町のシンボルカラーのしすいブルー（群青色）が使われています。

名前

史跡めぐり ~行ってみよう見よう!~

📍…スケッチポイント

本佐倉城コース〈3時間〉

最寄り駅【京成酒々井】

- ①築山 → ②新堀の双体道祖神 → ③カンカンム口横穴群 → ④上岩橋貝層 → ⑤本佐倉城跡 → ⑥本佐倉の双体道祖神 → ⑦鬼塚古墳 → ⑧旧成田街道 → ⑨勝蔵院 → ⑩酒の井の碑



築山



勝蔵院

駅から県道を佐倉方面に向かうと明治天皇が休けいされた記念碑が立つ小高い築山が見えます。この山からは印旛沼や遠く筑波山をながめることができます。

旧成田街道の宿場町であったため、昔からの家や神社が多く残っています。昔の町の中心であった勝蔵院には、赤色の仁王門と不動堂があります。

小盛田古墳コース〈2時間〉

最寄り駅【JR酒々井】

- ①小盛田古墳 → ②尾上の双体道祖神 → ③住吉神社 → ④飯積の大杉 → ⑤飯積村道標



住吉神社



飯積の大杉

復元された小盛田古墳を通り、昔からの集落である尾上の細い坂道をくぐると双体道祖神があります。その前の石段をあがると大木に囲まれた神社があります。

飯積の大杉は、伊豆神社にあります。空に向かって高くのびている大杉のおよその年齢は700年とされていて、町の天然記念物にもなっています。

酒々井まがり家コース〈3時間〉

最寄り駅【JR南酒々井】

- ①酒々井まがり家 → ②香取神社 → ③東伝院 → ④六所神社 → ⑤ハーブガーデン



酒々井まがり家



ハーブガーデン

300年前から続いている造り酒屋の中に直角にまがっている家があります。これは、新潟県から移した「まがり家」と呼ばれる家です。

そこから東伝院をぬけて高崎川に向かい、墨のししまいが行われる六所神社をすぎると、春から秋にかけて、世界の約150種類のハーブのかおりがたようハーブガーデンに行けます。

宗吾参道コース〈2時間〉

最寄り駅【京成宗吾参道】

- ①岩橋城跡 → ②下岩橋の双体道祖神 → ③大仏頂寺 → ④柏木の双体道祖神 → ⑤浄泉寺



柏木の双体道祖神



浄泉寺

里山のおもかげが残る岩橋城跡から大仏頂寺への坂をあがっていくと、その途中には、「弘法の滝」というわき水が流れています。寺の上の県道に出ると、男女2つの石像がなかよく手を取り合っている双体道祖神を見ることができます。

浄泉寺には、500年以上前の寺の合図に使った雲板などの文化財があります。

1 土地のようす (どんな土地なのかな?)

住宅や商店の多いところ



①京成酒々井駅方面のようす



②JR酒々井駅方面のようす



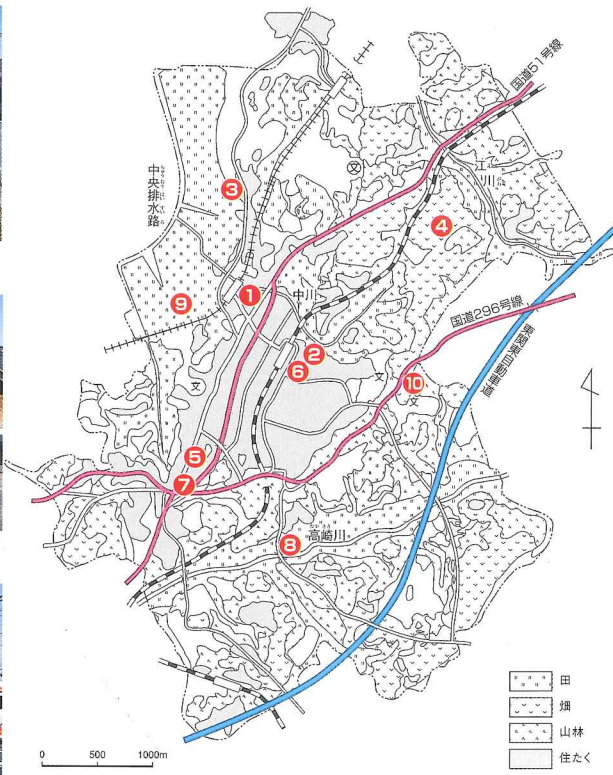
③柏木方面の道しるべ



⑤旧成田街道



⑦国道の交差点



田や畑の多いところ



④伊篠新田方面の畑



⑥東酒々井方面



⑧高崎川周辺の水田



⑨中央はい水路方面の水田



⑩酒々井中学校方面の落花生畑

2 産業のようす (何を作っているのかな?)

酒々井町ではどのようなものを作っているのでしょうか?

[1] 米作り



しろかき



なえづくり



田うえ



草かり



稲かり



かんそう〜もみすり

[2] 落花生作り



畑をたがやす



たねをまく



土をよせる



らっかせいほり



のうづみ



だっこく

[3] 酒々井町の特産品



酒造り



ピーナッツ



朝市 (毎週日曜日・町役場の駐車場)

3 町の施設 (みんなが使うたて物だよ!)

わたしたちのくらしのためにどのような施設があるのでしょうか?

安全のための施設

わたしたちのくらしを守る施設です。



酒々井消防署



酒々井交番



佐倉警察署

生活のための施設

わたしたちのくらしをささえる施設です。



リサイクル文化センター



尾上浄水場



保健センター

文化・スポーツ施設

わたしたちのくらしをゆたかにする施設です。



プリミエール酒々井



コミュニティプラザ



総合公園



中央公民館



町役場



ハーブガーデン

4 地域の歴史 (むかしの酒々井)

むかしの酒々井町はどのような土地だったのでしょうか?

上岩橋貝層 (約20万年前) (県指定天然記念物)



Q 貝層って何?

A 約20万年前、このあたりが海であったころの貝が積もってできたものです。

小盛田古墳 (約1300年前)



Q 古墳はだれが何のために造ったのかな?

A 昔の豪族というこの地域の支配者が力を示すために造った「おはか」です。

本佐倉城跡 (約540年前) 城の大きさ (東西約700m/南北約800m/面積約35万m²) (国指定史跡)



Q この城はだれが何のために造ったのかな?

A 本佐倉城は戦国時代に千葉氏という殿様が造りました。千葉氏は千葉県で一番の殿様でした。戦国時代は戦いが毎日のようにあったので、戦いに備えて城を造り、せめてくる敵から守れるようにしました。

この城は関東地方でも有名な城で、広さは酒々井小学校の10こ分あります。千葉氏は100年の間、この城に住んでいましたが、豊臣秀吉に攻められ、降参しました。

旧成田街道 (約300年前)



Q どうしてこの道にむかしからの家があるのかな?

A この道は街道とよび、江戸時代に旅人が通った道です。

道しるべ



Q 道しるべは何のために作ったのかな?

A 成田山などにお参りする旅人が、道に迷わないようにするための道路標識です。

地域にはどのような祭りがあるのでしょうか?

馬橋のししまい



7月第3土曜日 (香取神社)

墨のししまい (県無形民俗文化財)



7月15日 (六所神社)

上岩橋のししまい



4月第1日曜日 (駒形・菊賀・大鷲神社)

しすいガイドマップ



酒々井町のホームページ <http://www.town.shisui.chiba.jp/>

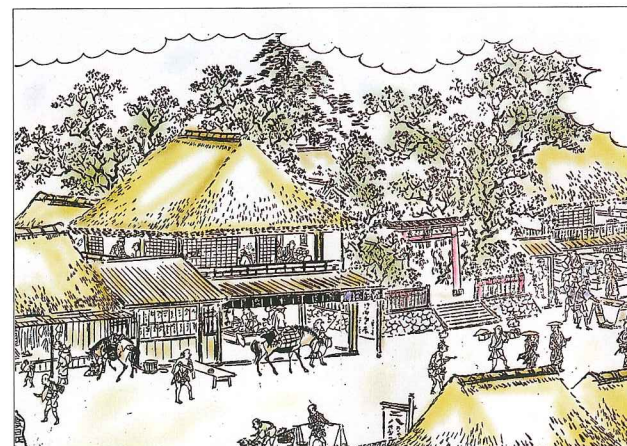
酒々井町の今・むかし

今から300年ほど前の江戸時代には、江戸（東京）と佐倉を結ぶ街道（佐倉道）が発達します。人々が豊かになると、物見遊山といって神社や寺などの観光地（名所）にでかける人が多くなりました。それとともに名所案内などの絵（今でいうと絵はがき）が描かれるようになります。酒々井町も宿場町として旅人がたくさん通りました。むかしのようすを想像して今の景色とくらべてみましょう。

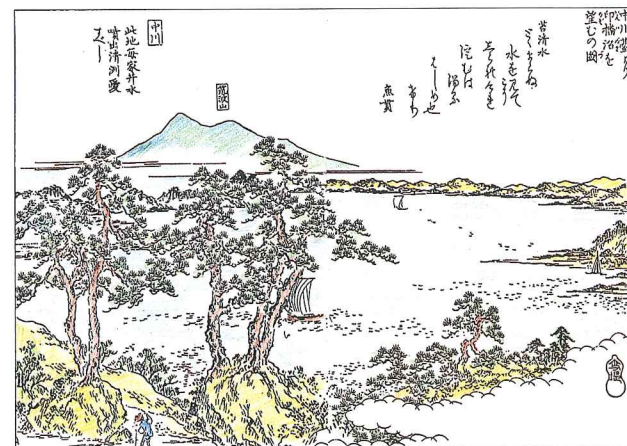
【むかし】



中川の景 三代目広重画「成田土産名所尽」
「酒々井町史」より転載



酒々井駅の図
「成田参詣記」を歩く（崙書房出版）より転載



中川台より印旛沼を望むの図「成田名所図会」
「成田街道酒々井の歴史散歩」(国書刊行会)より転載

【今】



京成線の上を通る県道から見た中川方面



旧成田街道の八坂神社



築山から見た印旛沼方面